

令和4年6月20日

各 位

会 社 名 中 日 本 興 業 株 式 会 社
代 表 者 名 代 表 取 締 役 社 長 服 部 徹
コ ー ド 番 号 (コ ー ド 番 号 9 6 4 3 名 証 メ イ ン 市 場)
問 合 せ 先 執 行 役 員 感 動 創 造 支 援 本 部 副 本 部 長
加藤康章
(TEL 052-551-0274)

(訂正)「令和4年3月期決算短信[日本基準](非連結)」の一部訂正に関するお知らせ

令和4年5月13日に発表しました「令和4年3月期決算短信[日本基準](非連結)」について、一部訂正すべき事項がありましたので以下のとおりお知らせいたします。

記

1. 訂正理由

令和4年3月期の報告セグメントにおいて、従来「シネマ事業」に含まれていた「不動産賃貸事業」の量的な重要性が増したことにより、「令和4年3月期決算短信[日本基準](非連結)」公表後、報告セグメントを変更すべきことが判明しましたので訂正いたします。

2. 訂正内容

訂正前と訂正後を添付しており、訂正箇所はそれぞれ下線を付して表示しております。

【訂正箇所】 添付資料2ページ

1. 経営成績等の概況

(1) 当期の経営成績の概況

(訂正前)

【シネマ事業】

(省略)

この結果、当事業では売上高は25億51百万円(前年同期比42.4%増)、セグメント損失は2億7百万円(前年同期はセグメント損失3億42百万円)となりました。

なお、「収益認識に関する会計基準」(企業会計基準第29号2020年3月31日。以下「収益認識会計基準」という。)等を当事業年度の期首から適用したことにより、売上高は4,879千円減少し、セグメント損失は4,879千円増加しております。

【アド事業】

当事業は、「東京営業室」を軸に引き続き映画関連を中心とした営業活動をいたしました。映画関連は回復の兆しは見られたものの、催事・イベント等の開催が同感染症拡大動向に影響を受け、厳しい状況で推移いたしました。また、コインパーキング事業につきましても新規案件が減少し、低迷いたしました。

この結果、当事業では売上高は2億6百万円(前年同期比21.2%増)、セグメント損失は36百万円(前年同期はセグメント損失49百万円)となりました。

(訂正後)

【シネマ事業】

(省略)

この結果、当事業では売上高は24億71百万円(前年同期比44.1%増)、セグメント損失は2億37百万円(前年同期はセグメント損失3億64百万円)となりました。

なお、「収益認識に関する会計基準」(企業会計基準第29号2020年3月31日。以下「収益認識会計基準」という。)等を当事業年度の期首から適用したことにより、売上高は4,879千円減少し、セグメント損失は4,879千円増加しております。

【アド事業】

当事業は、「東京営業室」を軸に引き続き映画関連を中心とした営業活動をいたしました。映画関連は回復の兆しは見られたものの、催事・イベント等の開催が同感染症拡大動向に影響を受け、厳しい状況で推移いたしました。また、コインパーキング事業につきましても新規案件が減少し、低迷いたしました。

この結果、当事業では売上高は2億6百万円(前年同期比21.2%増)、セグメント損失は36百万円(前年同期はセグメント損失49百万円)となりました。

なお、「収益認識に関する会計基準」等を当事業年度の期首から適用したことによる影響はありませんでした。

【不動産賃貸事業】

当事業では名古屋市において商業施設賃貸を中心に事業を行い、同感染症の影響を大きく受けることなく、堅調に推移いたしました。

この結果、当事業では売上高は79百万円(前年同期比5.5%増)、セグメント利益は30百万円(前年同期比35.0%増)となりました。

なお、「収益認識に関する会計基準」等を当事業年度の期首から適用したことによる影響はありませんでした。

【訂正箇所】 添付資料11ページ

3. 財務諸表及び主な注記

(5) 財務諸表に関する注記事項

(セグメント情報等)

(セグメント情報)

1. 報告セグメントの概要

(訂正前)

(省略)

当社は、取り扱う製品・サービス別に部門を分け、それぞれが包括的な総合戦略を立案し、事業活動を展開しております。したがって、当社は部門を基礎とした製品・サービス別のセグメントから構成されており、「シネマ事業」「アド事業」の2つを報告セグメントとしております。

「シネマ事業」は、映画館及び飲食店の運営と不動産賃貸をしております。「アド事業」は、看板の製作と広告代理店等を行っております。

(訂正後)

(省略)

当社は、取り扱う製品・サービス別に部門を分け、それぞれが包括的な総合戦略を立案し、事業活動を展開しております。したがって、当社は部門を基礎とした製品・サービス別のセグメントから構成されており、「シネマ事業」「アド事業」「不動産賃貸事業」の3つを報告セグメントとしております。

「シネマ事業」は、映画館及び飲食店等の運営をしております。「アド事業」は、看板の製作と広告代理店等を行っております。「不動産賃貸事業」は不動産の賃貸等をしております。

なお、当事業年度より、従来「シネマ事業」に含まれていた「不動産賃貸事業」について量的な重要性が増したため報告セグメントとして記載する方法に変更しております。また、前事業年度のセグメント情報については変更後の区分により作成しております。

【訂正箇所】 添付資料11ページ

3. 財務諸表及び主な注記
 (5) 財務諸表に関する注記事項
 (セグメント情報等)
 (セグメント情報)

3 報告セグメントごとの売上高、利益又は損失、資産、負債その他の項目の金額に関する情報
 前事業年度(自令和2年4月1日至令和3年3月31日)

(訂正前)

(単位:千円)

	報告セグメント			調整額	財務諸表 計上額
	シネマ	アド	計		
売上高					
外部顧客への売上高	1,791,235	170,554	1,961,789	—	1,961,789
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—
計	1,791,235	170,554	1,961,789	—	1,961,789
セグメント利益	△342,129	△49,853	△391,982	—	△391,982
セグメント資産	4,105,215	243,929	4,349,145	—	4,349,145
その他項目					
減価償却費	170,896	3,610	174,507	—	174,507
有形固定資産及び 無形固定資産の増加額	42,944	792	43,737	—	43,737
減損損失	—	—	—	—	—

(訂正後)

(単位:千円)

	報告セグメント				調整額	財務諸表 計上額
	シネマ	アド	不動産賃貸	計		
売上高						
外部顧客への売上高	1,715,637	170,554	75,597	1,961,789	—	1,961,789
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—	—
計	1,715,637	170,554	75,597	1,961,789	—	1,961,789
セグメント利益又は損失(△)	△364,398	△49,853	22,269	△391,982	—	△391,982
セグメント資産	3,100,757	243,929	1,004,458	4,349,145	—	4,349,145
その他項目						
減価償却費	158,961	3,610	11,935	174,507	—	174,507
有形固定資産及び 無形固定資産の増加額	42,944	792	—	43,737	—	43,737
減損損失	—	—	—	—	—	—

【訂正箇所】 添付資料12ページ

3. 財務諸表及び主な注記
 (5) 財務諸表に関する注記事項
 (セグメント情報等)
 (セグメント情報)

3 報告セグメントごとの売上高、利益又は損失、資産、負債その他の項目の金額に関する情報
 当事業年度(自令和3年4月1日至令和4年3月31日)

(訂正前)

(単位:千円)

	報告セグメント			調整額	財務諸表 計上額
	シネマ	アド	計		
売上高					
映画館関連	2,380,029	—	2,380,029	—	2,380,029
飲食店関連	91,550	—	91,550	—	91,550
不動産賃貸関連	<u>79,762</u>	—	<u>79,762</u>	—	<u>79,762</u>
看板製作及び広告関連	—	206,698	206,698	—	206,698
顧客との契約から生じる収益	<u>2,551,341</u>	206,698	<u>2,758,040</u>	—	<u>2,758,040</u>
外部顧客への売上高	<u>2,551,341</u>	206,698	2,758,040	—	2,758,040
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—
計	<u>2,551,341</u>	206,698	2,758,040	—	2,758,040
セグメント損失(△)	<u>△207,222</u>	△36,036	△243,259	—	△243,259
セグメント資産	<u>4,122,968</u>	218,381	4,341,349	—	4,341,349
その他項目					
減価償却費	<u>180,626</u>	2,775	183,402	—	183,402
有形固定資産及び 無形固定資産の増加額	146,692	480	147,173	—	147,173
減損損失	1,431	—	1,431	—	1,431

(訂正後)

(単位:千円)

	報告セグメント				調整額	財務諸表 計上額
	シネマ	アド	不動産賃貸	計		
売上高						
映画館関連	2,380,029	—	—	2,380,029	—	2,380,029
飲食店関連	91,550	—	—	91,550	—	91,550
看板製作及び広告関連	—	206,698	—	206,698	—	206,698
顧客との契約から生じる収益	<u>2,471,579</u>	206,698	—	<u>2,678,278</u>	—	<u>2,678,278</u>
その他の収益	—	—	<u>79,762</u>	<u>79,762</u>	—	<u>79,762</u>
外部顧客への売上高	<u>2,471,579</u>	206,698	<u>79,762</u>	2,758,040	—	2,758,040
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—	—
計	<u>2,471,579</u>	206,698	<u>79,762</u>	2,758,040	—	2,758,040
セグメント利益又は損失(△)	<u>△237,293</u>	<u>△36,036</u>	<u>30,071</u>	<u>△243,259</u>	—	<u>△243,259</u>
セグメント資産	<u>3,218,144</u>	118,381	<u>1,004,824</u>	4,341,349	—	4,341,349
その他項目						
減価償却費	<u>170,415</u>	2,775	<u>10,211</u>	183,402	—	183,402
有形固定資産及び 無形固定資産の増加額	146,692	480	—	147,173	—	147,173
減損損失	1,431	—	—	1,431	—	1,431

以上